



慶應義塾大学ビジネス・スクール

「この授業は難しすぎます」

M大学ビジネススクールの教授 神田川弘明は、「経営統計」の学期末の成績をつけ終えたばかりだった。例年どおり、評価は少し甘くつけていた。授業が厳しいことでは名高い神田川教授も、授業を厳しくして、成績まで厳しくすることには懐疑的だった。

成績表を教務へ提出したあと、神田川教授は教務から自分の授業の評価シートを受け取った。これは「経営統計」の授業を履修した学生が、神田川の授業について評価したシートである。教員が履修者の成績表を教務に出すと、それと引き換えにこのシートを受け取ることができるルールになっていた。

研究室に戻った神田川教授は、彼とともに学んだ履修者たちが書いた評価シートを読み始めた。神田川教授の授業についての評価シートには、学生の声として、こんな言葉が並んでいた。

「先生は一部の学生としか授業をしていません。教室は授業を理解できずにいた学生で溢れかえっていました。お気づきになりませんでしたか。」

「なにしろ予習が大変でした。必修でもないのに、こんなにいろいろと準備しなければならなかったのです。きっと少なからず、必修科目の成績に影響しているはずで、そっちの方が心配です。」

「先生が求める内容は高度すぎます。みんながみんな、先生のように仕事をするわけではな

このケースは慶應義塾大学ビジネス・スクール博士・修士課程併設科目「ケースメソッド教授法特論」の教材とするために、竹内伸一と大倉由利子（ともにケースメソッド教育研究所）が作成した。（2004.11）

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、ケースの複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8523 神奈川県横浜市港北区日吉本町2丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail case@kbs.keio.ac.jp）。また、ケースの注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/case/index.html>。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、本ケースのいかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またはいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送は、これを禁ずる。

Copyright©2004 は慶應義塾大学ビジネス・スクールが保有する。